

第七十四回帝國議會 衆議院 職員健康保險法案委員會會議錄(速記)第九回

會議

昭和十四年三月十六日(木曜日)午後二時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 眞鍋 勝君

理事中崎 俊秀君 理事成島 勇君

理事小串 清一君

高木桑太郎君

本田彌市郎君

南 鼎三君

濱地 文平君

山崎 常吉君

米窪 滿亮君

同日委員米窪滿亮君辭任ニ付其ノ補闕トシテ塚本重藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

厚生大臣 廣瀨 久忠君

出席政府委員左ノ如シ

厚生政務次官 津崎 尙武君

厚生參與官 綾部健太郎君

厚生省衛生局長 林 信夫君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院社會保險局長 清水 玄君

保險院簡易保險局長 藤川 靖君

保險院書記官 川村 秀文君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船員健康保險法案(政府提出)

健康保險法中改正法律案(政府提出)

眞鍋委員長 是ヨリ開會致シマス、既ニ昨日ヲ以テ質疑ハ打切ツテアリマス、ソレ

デ今日御諮リヲ致シマスガ、土屋君ノ方カラ斯ウ云フ決議ヲ附シテハドウカト云フヤ

ウナ御話ガアリマシタ、一應讀上ゲマス、「診療録ノ査閱ヲ醫師法以外ノ他ノ命令ヲ以テ行フハ社會人心ニ甚大ナル不安ヲ與フルノミナラズ、政治的ニ之ヲ悪用スルノ虞

尠シトセス、政府ハ現行醫師法立法ノ趣旨ニ鑑ミ、醫師法以外ノ他ノ命令ヲ以テ是ガ

査閱ヲ爲スヲ廢止スベシ」斯ウ云フヤウナ決議ヲシタイト云フ申出デガアツタノデア

リマシマスガ、モウ既ニ皆様ノ態度モ決シテ居ラレルト思ヒマシマス、土屋委員ノ申出ニ

對シマシテ皆様ニ御諮リヲ致シマス、斯様ナ決議ニ賛成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス

(贊成者起立)

眞鍋委員長 贊成者二人デアリマス、否決サレマシタ——是ヨリ討論ニ入りマス、

高木桑太郎君

高木委員 我ハ立憲民政黨ヲ代表致シマシテ本案ニ賛成スル者デアリマス、海國日本ト致シマシテ、海ニ依ツテ發展セネバナ

ラナイコトハ勿論ノコトデアリマシテ、古ヨリ海運業ニ、或ハ漁業ニ、海洋デ働イテ、

殆ド世界ノ海ノ大半ヲ制覇シテ居ル現狀デアリマス、然ラバ其ノ船員タル者ハドウカ

ト云ヘバ、家庭ニ於ケル樂ミヲ爲スコトモ出來ズ、海ニ働イテ居ルノデアリマシテ、

中小漁業ナドニ致シマシテモ一箇月モ、二箇月モ歸ラズ、海上ノ遺利ヲ拾ヒツツアル

ヤウナ状態デアリマス、日本國ノ富ガ是マデ發展シタ其ノ基因ハ、此ノ海ノ人々ノ功

績ガ甚大デアルト云フコトヲ私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ此ノ方面ノ共濟施設

ナリ、社會制度ハ相當整備シツツアルニ拘ラズ、是マデ此ノ制度ノ無カツタコトハ、私

ハ寧ろ本案ノ後レテ居ツタコトヲ遺憾トスル者デアリマス、然ルニ此ノ度提出セラ

レタ此ノ案ニ付テ檢討致シテ見マスノニ、幾何カハ私共遺憾ノ點ガアルノデアリマシ

テ、勿論之ヲ以テ万全トハ思ハナイノデアリマス、定メシ厚生省ノ方デモ是デ満足

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

船員健康保險法案(政府提出)

健康保險法中改正法律案(政府提出)

デハナカツタラウト思フ、最初私共承知致シテ居ツタ所ニ依リマスレバ、三分ノ一ヲ國

庫ガ負擔ヲスルト云フヤウナコトモ承ツテ居ツタノデアリマスガ、本案ハ五分ノ一ト

ナツテ居ルヤウナ状態デアリマシテ、其ノ他幾多ノ遺憾ノ點ガアルノデアリマス、併

シナガラ本法ハ業者ノ多年要望スル所デアリマシテ、之ヲ會期切迫ノ今日、色々討議

シテ居ツテ、此ノ案ノ不成立ニナルコトヲ私ハ最モ憂ヘル者デアリマス、不満足ナガ

ラモ早く此ノ案ヲ成立サシテ、海上生活者即チ船員ノ家族ノ安定ヲ得セシメ、又老後

ノ休養ヲ爲サシメルト云フ折角ノ社會立法ヲ、成立サセタイト云フ熱意ヲ以テ私ハ贊

成スル者デアリマス、餘リ多クハ申シマセヌガ、質問ノ時ニモ申上ゲマシタガ唯茲ニ

申上ゲテ置キタイトハ、漁業船員ニ對シマシテノ特異性ガ、餘リ織込シテナカツタコトハ、尙更ヲ遺憾ニ思フノデアリマシマスカラ

私ハ茲ニ希望事項ヲ附シマシテ賛成スル者デアリマス、希望事項ヲ朗讀致シマス

希望事項

一、漁船乗組員ハ第十七條第一項第三號

勅令ヲ以テ之ヲ本法中ヨリ除外スル

コト

二、漁船乗組員ニ對シテハ其ノ特殊性ヲ考慮シ本法ト別ニ漁船員保險法ノ制定又ハ漁船員共濟制度ノ樹立ヲ爲スノ要アリ、仍テ政府ハ速ニ之ガ立案ヲ爲シ次議會ニ提出スルコト

此ノ最モ強キ意味ヲ持チマシタ希望事項ヲ附シマシテ、本案ニ賛成スル者デアリマス

○眞鍋委員長 濱地文平君

○濱地委員 本案ニ對シマシテハ尙ホ遺憾ノ點ヲ認メルノデアリマスケレドモ、茲ニ立憲政友會ヲ代表致シマシテ、贊意ヲ表スル者デアリマス、但シ先般本員ノ質問中ニ述ベマシタ通り、漁業船員ニ關シマシテハ、母船式漁業ニ従事スル母船船員ヲ除キテ、別ニ保險制度又ハ共濟制度ヲ考慮セラレンコトヲ、希望條件トシテ置ク次第デアリマス

○眞鍋委員長 山崎常吉君

○山崎委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、本案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表シマス、既ニ申上ゲマスマデモナク、今政府ハ社會立法の見地カラ、斯様ナ船員保護ノ案ヲ御提案ナサツテ、洵ニ結構ナコトト思ヒマス、併シ私共ハ人力確保、此ノ見地カラ行キマスレバ、社會政策的建前デハイケナ

イ、最モ根本的ニ人力擴充ノ方法ヲ圖ラネバナラナイト存ジマス、ソレニハ又別個ノ途モアルカニ考ヘマス、本案ニハ贊成デアリマスケレドモ、是デ十分トハ斷ジテ考ヘラレマセヌ、ダガ逸早く先ヅ此ノ法律案ヲ制定ナサツテ、海員ノ保護ニ當ラレルト云フコトニ付キマシテハ、満足ヲ表スル者デアリマス、更ニ又此ノ事變下ニ於キマスル國際的取引、又第一線ノ將兵ノ送迎ヘ、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテ、船員ノ働キハ實ニ國民全體トシテ感謝ニ堪ヘナイノデアリマス、既ニ聞ク所ニ依リマスレバ、其ノ間ニ身ヲ犠牲トシテ噎レク船員諸君モ、多々アルカニ聞及ブノデアリマス、是等ニ對スル方策モ將來立テテ戴カナケレバナラヌノデハナイカ、本法案ニ付キマシテハ、既ニ保險制度調査會ニ於キマシテ、一ツノ案ガ立テラレタト云フコトヲ聞及ビマス、此ノ保險制度調査會ニ於テ立テラレタ案ヨリハ、茲ニ提出セラレタ案ハ、大分低下シテ居ルト云フコトヲ聞キマス、或ハ政府負擔ノ金ニ致シマシテモ、其ノ案ニ依リマスレバ、三分ノ一政府ガ負擔ヲスル、所ガ此ノ案ニ依リマスレバ、五分ノ一ノ負擔ノ案ニナツテ居ルノデアリマス、又給付期間ノ短縮ト云フヤウナコトモ聞及ビマス、是等ノ諸點

ニ對シマシテ海員救濟ノ根本ヲ、懸テ御立テ下サル意味カラ、曾テノ保險制度調査會ニ於キマシテ立テラレマシタ案ハ勿論ノコト、ソレ以上救濟ノ根本ニナルト云フヤウナ工合ニ、御進メ下サランコトヲ希望致シマシテ原案ニ賛成致シマス

○眞鍋委員長 米窪滿亮君

○米窪委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ、本案ニ賛成ノ意ヲ申述ベマス、私共ノ理想ト今採決セントスル本案トノ間ニハ、相當ノ距離ガアリ、又先程山崎委員カラモ言ハレタ通り、保險制度調査會ノ決定ノ案ト本案トノ間ニハ、相當改惡サレタ點ガアルノデアリマシテ、養老年金ニ對スル國庫負擔金ガ、三分ノ一カラ五分ノ一ニナツテ居ル、或ハ療養ノ給付ガ一年カラ六箇月ニナツタ、或ハ死亡手當ヲ受ケル資格ガ、原案ニナカツタノガ、三年經タナケレバ得ラレナイ、斯ウ言ツタ諸點ニ於テ、保險制度調査會ノ案ヨリモ改惡サレタ點ガアリマスガ、是ハ厚生大臣及ビ其ノ他厚生御當局ノ誠意ニ信賴致シマシテ、必ズヤ將來適當ノ機會ニ改正サレルコトヲ信賴シマシテ、贊成スル次第デアリマス、何卒厚生大臣及ビ厚生御當局ニ於テ、將來適當ノ機會ニ、是等ノ點ヲ保險制度調査會ノ案ニマデ引戻

スコトニ付テ、御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、最後ニ私共ノ希望ト致シマシテ、先程高木委員カラモ言ハレタノデアリマスガ、本保險ノ被保險者ノ數ハ、割合ニ他ノ保險ニ較ベテ少イ、隨テ保險數額カラ言ヒマシテモ、成ベク多クノ被保險者ヲ得ルト云フコトガ、保險運用上都合ガ好イト云フコトカラ考ヘマシテ、第十七條ノ三號ニ除外スベギモノ、即チ本保險ヲ適用スルコトノ相應シクナイト、御當局デ認メラレテ居ルモノハ、實際ノ船員ノ實情ヲ綜合シマシテ、成ルベク多クノ被保險者ヲ、此ノ保險ニ加ヘラレンコトヲ望ムノデアリマス、其ノ理由ハ、此ノ保險ガ唯一ノ船員保護ノ案デアルト云フコトカラ見テ、成ベク多クノ船舶ノ乗組員ニ、此ノ恩惠ヲ均霑セシメタイト云フコトデアリマス、第二ノ希望意見ハ、質問ノ中ニ申上ゲマシタ通り、内地、外地ヲ通ジマシテ、本保險法案ノ運用上ニ於ケル一貫性ヲ確立サレタイト云フコトデアリマス、第三ハ先程申上ゲタ養老年金ニ對スル國庫負擔金五分ノ一ヲ、將來適當ノ機會ニ於テ、保險制度調査會ノ案ノ如ク三分ノ一ニ之ヲ殖ヤサレンコトヲ、關係政府當局ト御交渉アラントヲ希望シテ、本案ニ賛成スルノデアリマス

○眞鍋委員長 討論ハ之ニテ終結致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、本案ニ賛成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス

(起立議員)

○眞鍋委員長 起立議員、本案ハ満場一致可決サレマシタ——本案ノ可決ニ臨ミマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス、此ノ委員會開會中ハ、極メテ慎重ナル態度ヲ以テ臨マレマシテ、洵ニ深く敬意ヲ表スルノデアリマス、本日ハ開會時間ガ餘程遅レマシテ、貴重ナル皆様ノ時間ヲ空費致シマシタコトハ、是偏ニ私ノ不徳ノ致ス所ト存ジ、慚愧ニ耐ヘザル次第デアリマス、(ノールノール)事情斯ノ如キニナリマシタコトニ付キマシテ、深く責任ヲ感ズルノデアリマス、謹ンデ御挨拶ヲ申上ゲマス(拍手)

○眞鍋委員長 引續キマシテ御迷惑デアリマスガ、本委員會ニ付託サレマシタル健康保險法中改正法律案ノ審議ヲ致シマス、先ヅ政府當局ノ御説明ヲ御願致シマス——廣瀬厚生大臣

○廣瀬國務大臣 只今議題トナリマシタ健康保險法中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由並ニ其ノ要旨ヲ説明申上ゲマス、御承知ノ如ク健康保險法ハ、工場、鑛山等ニ使用セラルル者ノ爲ニ、其ノ疾病又ハ負傷等

ニ關シ、療養ノ給付又ハ傷病手當金等ノ支給ヲ爲シ、以テ是等勞働者其ノ他小額所得被傭者ノ生活ノ安定ヲ計リ、勞働力ヲ保全シ、産業ノ進展ニ寄與スルノ趣旨ヲ以テ、昭和二年一月一日ヨリ實施サレ、現在ニ至ツテ居ルノデアリマス、而シテ最近ノ實績ニ依リマス、被保險者數約四百万人、保險給付費用年額約四千万圓ニ上リ、將來尙ホ増加ノ趨勢ニアルノデアリマシテ、其ノ實施以來勞働者等ノ爲ノ生活安定、及ビ健康ノ保持増進ノ保護施設トシテ、少カラザル好結果ヲ齎ラシツアルト共ニ、産業能率ノ進展上モ、多大ノ好影響ヲ及ボシツツアリ、殊ニ現下ノ時局ニ際シマシテハ、銃後産業戰線ヲ充實強化致シマス施設トシテ、益、其ノ重要性ヲ痛感サレル次第デアリマスガ、健康保險實施以來十年餘ノ實績ニ徴シマシテ、保險經濟上相當ノ餘裕ノアリマス場合ニハ、法定ノ本來ノ給付ノ外ニ、或ル程度附加ノ給付ヲ爲シ得ルノ途ヲ拓クコトト致シマスノガ、適當ト考ヘラレマスト共ニ、職員健康保險法案及ビ船員保險法案ノ提案ニ伴ヒ、改正ヲ必要トスル點ガアリマスノデ、茲ニ本改正法律案ヲ提出スルニ至ツタ次第デアリマス

今改正ノ要旨ニ付キ、主ナル點ヲ申上ゲマスト、次ノ數點デアリマス先ツ今日職員健康保險法案及ビ船員保險法案ガ、提案サレルコトニナリマシタノデ、之ニ伴ヒマシテ是等ノ保險制度トノ間ニ於ケル被保險者ノ異動等ニ關聯致シマシテ、健康保險法中ニ關シ、被保險者ノ資格ニ關スル規定、及ビ保險給付ノ支給ニ關スル規定等、關係規定ヲ整備改正スルコトト致シテ居リマス

次ニ現行法ニ於ケル保險給付ハ、被保險者ノ疾病、負傷、死亡又ハ分娩ニ限ラレテ居ルノデアリマスガ、之ヲ被保險者ノ家族ノ下ニ或ル程度療養費ノ補給ヲ爲シ得ルノ途ヲ拓イタノデアリマス、尙ホ此ノ場合被保險者ガ出征致シマシタヤウナ場合ニモ、其ノ家族ノ傷病ニ付テ、療養費ノ補給ヲ爲シ得ルコトト致シテ居リマス、又傷病ニ關スル保險給付ノ支給期間ハ、從來百八十日デアリマシタモノヲ、結核性疾患ニ關シマシテハ、一定條件ノ下ニ之ヲ一年ニ延長スルコトガ出來ル途ヲ拓イタノデアリマス

尙ホ其ノ他事務簡捷ヲ圖リ、保險事務ノ能率ノ増進ヲ期シマス爲ニ、手當金支給期間中モ保險料ヲ徴收シ、或ハ分岐給付費用ノ保險者間ニ於ケル分擔ニ關スル規定ノ廢止ヲ爲ス等ノ改正ヲ致シテ居リマス、何卒御

審議ノ上、速ニ御協賛アラシコトヲ希望致シマス

○眞鍋委員長 本法律案ニ對シテ、資料ノ御要求ガアリマスナラバ、此ノ際ニシテ戴キマス

○中崎委員 資料ヲ一ツ請求致シマス、昭和二年ニ本制度ガ實施サレテカラ、爾來保險金ノ積立ガ相當アルト云フコトデアリマス、ドウ云フ程度ニナツテ居リマスカ、ソレ等ノ數字ヲ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ現在鑛山等ノ被保險者ニ對シマシテ、政府ハ特別ニ日本醫師會ニ對シテ、其ノ保險ノ特別給與ヲシテ居ルノデアリマスガ、尙ホ一層是等ニ對シマシテ、ドウ云フ考ヲシテ居ルカト云フヤウナコトニ付テ、現在鑛山等ノ被保險者ノ表ト云フヤウナコトニ關シテノ資料ヲ御示シ願ヒマス

○田中委員 健康保險、國民健康保險、船員、職員モ皆デアリマスガ、假リニ國民健康保險デアラナラバ、完成期ハドノ位ノ見込ニナツテ居リマスカ、ソレト總テノ經費、組合ノ掛金、或ハ政府ノ補助金、ソレカラ全部ノ中デ事務費ガ大凡ドノ位ニナツテ居ルカ、其ノ事務費ハ單ニ中央ダケデナシ、地方ニモ相當事務費ガ使ハレテ居リマス、是ハチツトハ行クマイガ大體ノ目安ヲ、健

康保險ヤ國民健康保險バカリデナク、皆ノ
サウ云フ數字ヲ願ヒタイ、此ノ次マデデ宜
シウゴザイマス

○塚本委員 私モ一ツ資料ヲ御願シタイト
思フノデスガ、最近三箇年間ノ工場、鑛山
ニ於ケル災害ノ件數、是ハ災害ダケデナク、
死亡竝ニ傷病共ニ御願シタイ

○山崎委員 私ハ最近ノ軍需工業地帯ノ勞
働者ノ傷害ト死亡ノ状態ノ統計、ソレカラ
農村ト都市ノ男女別死亡率、此ノ統計ガ戴
キタイ

○南委員。私ハ乳幼兒ノ死亡率、諸外國ノ
統計モアリマスレバ其ノ統計、又「カロリ
ー」、所謂食餌滋養ト其ノ體質ニ及ボス受胎
關係ノ模様ノ御調査ガアリマシタナラバ戴
キタイ、多分マダソコマデ行ツテ居ラナイ
ガラウト思ヒマスガ、榮養ニ付テ何十万人、
何万人ヲ試驗臺ニ載セタト云フ例ハ、諸外
國ニハ皆アリマスガ、日本デハマダヤツテ
居ラヌガラウガ、ヤツテ居ツタナラバ、其
ノ表ヲ戴キタイ、是ダケデス

○眞鍋委員長 他ニゴザイマセヌカ一ツ
レデハ本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ
午前十時カラ開會致シマス、何レ又公報ヲ
以テ御通知致シマス

午後二時四十三分散會

昭和十四年三月十六日印刷

昭和十四年三月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局